

中期標準化戦略(概要と目的)

専門委員会・AG名

信号制御専門委員会

1/3

企画戦略委員

原 美永子 (NTT)

登録委員数

34委員 (12会員)

委員長・副委員長/
リーダー・サブリーダー

委員長：吉川 智之(NTT東) 副委員長：斉藤 壮一郎(OKI)

図解

活動の目的・意義

- ITU-T勧告 (SG11関連)、IETF仕様 (SIP*中心)、3GPP仕様 (IMS**) に基づき、信号方式関連国内標準化活動 (PSTNマイグレーションの円滑な移行対応の標準類整備)
 - * SIP: Session Initiation Protocol
 - ** IMS: IP Multimedia Subsystem
- 2030年を見据えた、将来網の在り方や、要件に関してNetwork Vision、AI活用、IoTエリアネットワークの各専門委員会と連携した検討

活動する上での課題
(人材面や運用面での課題を含む)

- PSTNマイグレーションの完了 (2025年) を見据え、円滑な移行に向けて標準類の整備
- 意識合わせの場等での検討と、接続形態や、接続装置種別/製造ベンダー等が多岐に亘る中での試行結果の反映。例：SIPの解釈や設定順序等
- SG11における、仮想ネットワーク、IMT-2020 and beyond対応網、QKDN等と従来網との相互接続に係わるシグナリング及びプロトコル、フレームワークや、相互接続試験仕様インターオペラビリティ、速度測定等の課題への対応

関連のSDGsゴール

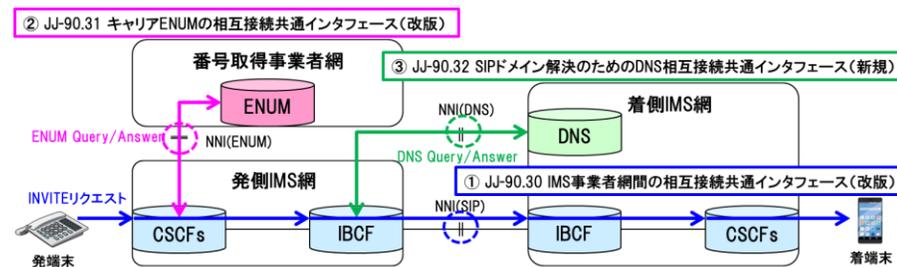


標準化方針

- SIP関連の仕様検討を中心に、国内の特有条件に応じた、標準・仕様書作成の検討を行う。(VoLTE/ViLTEの相互接続を含む)
- 移動-移動網間を含む網間のIP相互接続について、IMSをベースに、移動系専門委員会と連携して標準化を行う。その際には、3GPP、GSMAやCJK等の国際標準化動向に留意する。
- NGN信号プロトコルのリード専門委員会として、Network Vision、網管理、マルチメディア応用の各専門委員会等と連携して標準化活動を進める。

国内外の標準化団体等の動向

- 3GPPでは、IMS間相互接続仕様、SIP-ISUPインタワーク仕様に関して、Release-18以降も継続して仕様のメンテナンスが行われている。
- ITU-T SG11では、仮想ネットワーク、IMT-2020 and beyond対応網、QKDN等と従来網との相互接続に係わるシグナリング及びプロトコル、フレームワークや、相互接続試験仕様を継続検討中である。
- 又、SG11をリードSGとして適合性・相互接続性や、M2M/IoT、及び、IMT-2020、SDNのシグナリングに関する検討が行われている。



IMSネットワーク間の参照NNI

<p>新テーマ及び重点取り組み・活動成果・課題解決に向けた取り組み</p>	<p>専門委員会 2030年を見据えた、将来網の在り方や、要件に関してNetwork Vision、移動通信網マネジメント、AI活用、IoTエリアネットワークの各専門委員会と連携した検討 SIP SWG 国内ALL-IP化対応の標準(IMS事業者網間相互接続インターフェース等)の改訂 ① 3GPP等の標準化動向/PSTNマイグレーションに係る意識合わせの場の議論動向に留意しながら、IMS事業者網間インターフェースの検討を進める。 ② 委員からの標準化検討要望への対応 ③ CJK IMT-WG、GSMA等との連携、情報交換。 NGN信号アップストリーム SWG ① SG11：会合へのアップストリーム活動(国内寄書のサポート)</p>			
<p>関連する専門委員会または外部組織とその内容</p>	<ul style="list-style-type: none"> Security専門委員会、Network Vision専門委員会 (QKDN関連) Network Vision、AI活用、移動通信網マネジメント、IoTエリアネットワークの各専門委員会 (2030年を見据えた将来網検討) IoTエリアネットワーク専門委員会でのユースケース検討結果を踏まえたWI検討 3GPP専門委員会、MM専門委員会 			
<p>主な活動項目</p>	<p>概況指標</p>	<p>2023年度目標(当初計画時)</p>	<p>2023年度実施状況</p>	<p>記事</p>
<p>① アップストリーム 他団体との連携</p>	<p>寄書数</p>	<p>-</p>	<p>13件</p>	
	<p>外部会合への参加・連携状況</p>	<p>SG11:5月会合</p>	<p>SG11 5月会合:10名、10月会合:10名、3月会合(未定)</p>	
	<p>Recommendation</p>	<p>-</p>	<p>ITU-T Q.4160 QKDNプロトコルフレームワーク ITU-T Q.4161 (QKDNのAkインターフェースのプロトコル) ITU-T Q.4162 (QKDNのKxインターフェースのプロトコル) ITU-T Q.4163 (QKDNのKq-1インターフェースのプロトコル) ITU-T Q.4164 (QKDNのCkインターフェースのプロトコル)</p>	
<p>② ドキュメント作成 国内標準 仕様書 レポート</p>	<p>JJ標準</p>	<p>1件</p>	<p>4件 JJ-90.27v9.1 JJ-90.28v4.2 JJ-90.30v11.0 JJ-90.30(E)v11.0</p>	
	<p>TS/TR/SR</p>	<p>0件/0件/0件(未定)</p>	<p>TS:2件 TS-1018v7.2 TS-1025v1.1 TR:1件 TR-1088v3.0</p>	
<p>③ ダウンストリーム</p>	<p>数</p>	<p>0件(未定)</p>	<p>0件</p>	
<p>④ プロモーション 普及推進</p>	<p>セミナー</p>	<p>IP相互接続に関するセミナー(2023/6月)</p>	<p>未実施</p>	
	<p>記事投稿、講演会</p>	<p>TTCLレポート活動報告(未定) SG11 会合報告(未定)</p>	<p>・標準類制定状況(April Vol.38/No.1) ・標準類制定状況(July Vol.38/No.2) ・SG11会合報告(July Vol.38/No.2) ・SG11会合報告(January Vol.38/No.4)</p>	

新テーマ及び重点取り組み・想定される課題と課題解決に向けた取り組み

専門委員会 2030年を見据えた、将来網の在り方や、要件に関してNetwork Vision、移動通信網マネジメント、AI活用、IoTエリアネットワークの各専門委員会と連携した検討

SIP SWG 国内ALL-IP化対応の標準(IMS事業者網間相互接続インターフェース等)の改訂

① 3GPP等の標準化動向/PSTNマイグレーションに係る意識合わせの場の議論動向に留意しながら、IMS事業者網間インタフェースの検討を進める。

② 委員からの標準化検討要望への対応

③ CJK IMT-WG、GSMA等との連携、情報交換。

NGN信号アップストリーム SWG

① SG11：会合へのアップストリーム活動(国内寄書のサポート)

関連する専門委員会または外部組織とその内容

- Security専門委員会、Network Vision専門委員会 (QKDN関連)
- Network Vision、AI活用、移動通信網マネジメント、IoTエリアネットワークの各専門委員会 (2030年を見据えた将来網検討)
- IoTエリアネットワーク専門委員会でのユースケース検討結果を踏まえたWI検討
- 3GPP専門委員会、MM専門委員会

主な活動項目	概況指標	2024年度目標(当初計画時)	2024年度実施状況	記事
① アップストリーム 他団体との連携	寄書数	-	-	
	外部会合への参加・連携状況	SG11:5月会合		
② ドキュメント作成 国内標準 仕様書 レポート	JJ標準	1件(未定)		
	TS/TR/SR	0件/0件/0件(未定)	0件/0件/0件	
③ ダウンストリーム	数	0件(未定)		
④ プロモーション 普及推進	セミナー	IP相互接続に関するセミナー(2024/6月)		
	記事投稿、講演会	TTCLレポート活動報告(未定) SG11 会合報告(未定)		